

④再処理施設（気体廃棄物）

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設		—	クリプトン [^{85}Kr] (Bq)	ヨウ素 [^{129}I] (Bq)
	再処理施設合計	—	1.9×10^{10}	N.D.
	年間放出 管理目標値	—	8.9×10^{16}	1.7×10^9
日本原燃（株） 再処理事業所 (再処理施設)		放射性 アルゴン (Bq)	クリプトン [^{85}Kr] (Bq)	ヨウ素 [^{129}I] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	1.8×10^{16}	2.0×10^8
	年間放出 管理目標値	—	3.3×10^{17}	1.1×10^{10}

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設		全粒子状物質		
		[全 α] (Bq)	—	[全 $\beta\gamma$] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	—	N.D.
	年間放出 管理目標値	*11 2.2×10^{-8}	—	*11 1.1×10^{-4}
日本原燃（株） 再処理事業所 (再処理施設)		その他核種 (α 線を放出する核種) (Bq)	左記内訳(核種別) プルトニウム [$\text{Pu}(\alpha)$] (Bq)	その他核種 (α 線を放出しない核種) (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	N.D.	2.6×10^5
	年間放出 管理目標値	3.3×10^8	—	9.4×10^{10}

注：気体廃棄物の放出放射能（Bq）は、排気中の放射性物質の濃度（Bq/cm³）に排気量を乗じて求めている。
 なお、放出放射能濃度が検出限界濃度未満の場合は N.D. と表示した。
 検出限界濃度は次のとおり。（Bq/cm³）

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設	日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)
^{129}I : 3.7×10^{-8} 以下	放射性アルゴン : 1×10^{-4} 以下
^{131}I : 3.7×10^{-8} 以下	その他核種 (α 線を放出する核種) : 4×10^{-10} 以下
^{14}C : 4.0×10^{-5} 以下	(全 α に対する値で代表した。)
全粒子状物質 (全 α) : 1.5×10^{-10} 以下	$\text{Pu}(\alpha)$: 4×10^{-10} 以下
全粒子状物質 (全 $\beta\gamma$) : 1.5×10^{-9} 以下	^{106}Ru - ^{106}Rh : 4×10^{-9} 以下
	(粒子状 ^{106}Ru 及び揮発性 ^{106}Ru それぞれに対する値を示した)
	^{137}Cs - $^{137\text{m}}\text{Ba}$: 4×10^{-9} 以下

*11 3月間平均の濃度管理目標値(Bq/cm³)

④再処理施設（気体廃棄物）（続き）

ヨウ素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム [³ H] (Bq)	炭素 [¹⁴ C] (Bq)
N. D.	¹¹ 9.9×10	N. D.
¹⁰ 1.6×10	¹⁴ 5.6×10	¹² 5.1×10
ヨウ素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム [³ H] (Bq)	炭素 [¹⁴ C] (Bq)
⁶ 5.8×10	¹² 3.7×10	¹² 1.4×10
¹⁰ 1.7×10	¹⁵ 1.9×10	¹³ 5.2×10

—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
左記内訳（核種別）		
ストロンチウム —イットリウム [⁹⁰ Sr- ⁹⁰ Y] (Bq)	ルテニウム —ロジウム [¹⁰⁶ Ru- ¹⁰⁶ Rh] (Bq)	セシウム —バリウム [¹³⁷ Cs- ^{137m} Ba] (Bq)
⁵ 2.6×10	N. D.	N. D.
—		